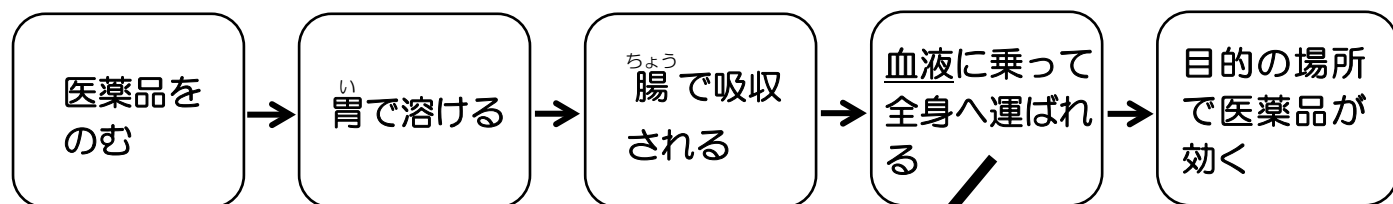


医薬品の効き方って知ってる？

口からのんだ医薬品が、どうして効くのか知っていますか？

《医薬品の効く仕組み》



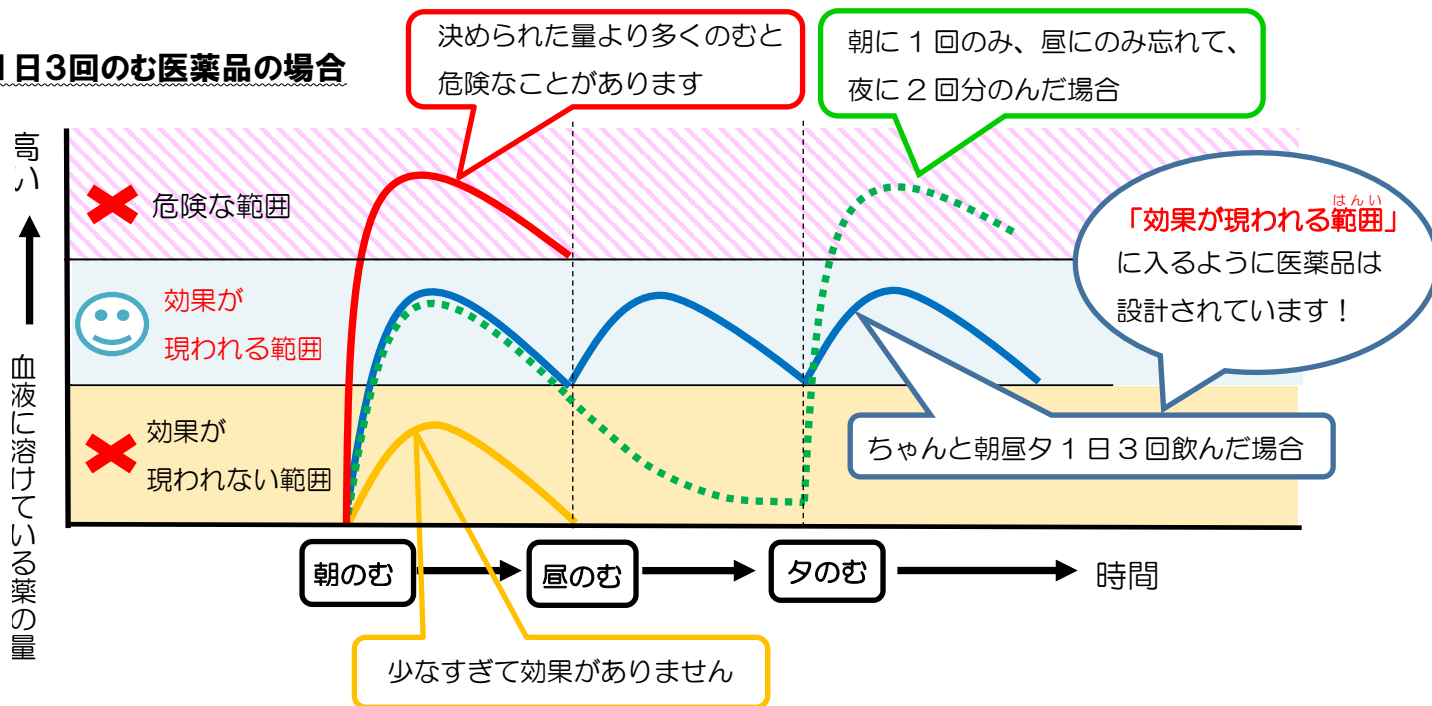
ここで大切なのが・・・

医薬品の効き目は、このときの「**血液に溶けている医薬品の量**」で決まるのです！



《血液に溶けている医薬品の量の変化》

● 1日3回のむ医薬品の場合



血液に溶けている医薬品の量は、時間とともに減っていきます。医薬品の量が減って効かなくなってくる頃に、次の医薬品をのむ時間になります。医薬品が体にちょうどよく効くようにするには、**血液に溶けている医薬品の量をちょうどよい量に保つ**（青線）必要があり、そのためにどの時間にどれくらいの量をのむのかが決められているのです。だから、

「効かないからもう一錠」（赤線）や、「のみ忘れたから2回分」（緑線）、
「痛みが軽いから半分だけ」（黄線）といったのみ方は間違いです！

医薬品は **用法・用量** を必ず守って、正しく使いましょう！

《出張相談会— 保健室に薬剤師が来ます 》
おくすりナビ、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで！
7月11日 午後4時00分～4時30分

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授(薬剤師) 大柳賀津夫
金沢大学医薬保健研究域薬学系 教授(薬剤師) 松下 良
金沢大学医薬保健学域薬学類6年生 中川璃子